



2024年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社 QD レーザ
代表者名 代表取締役社長 菅原 充
(コード番号：6613 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 経営企画室長 幸野谷 信次
(TEL. 044-333-3338)

2024年3月期通期業績予想の修正及び営業外収益の計上に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、2023年5月12日に公表しました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績予想を修正することといたしました。あわせて、2024年3月期 第3四半期累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）において、営業外収益を計上することとなりましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2024年3月期の業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,446	△559	△577	△582	△15.11
今回修正予想 (B)	1,244	△559	△577	△582	△13.98
増 減 額 (B - A)	△202	—	—	—	
増 減 率 (%)	△14.0	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	1,159	△556	△546	△550	△15.16

(2) 修正の理由

当社の事業のひとつであるレーザーデバイス事業を取り巻く経営環境におきまして、中国における新型コロナウイルス対策の収束により、主に細胞や血液等を検査するバイオ検査装置の需要が減退したことに伴い、当社顧客の生産計画変更と在庫調整が行われた結果、小型可視レーザーの需要が減退し、DFBレーザー等の販売増加による補填を図ったものの需要減少全体を補うには至りませんでした。また、レーザーアイウェア事業におきまして、RETISSA ON HANDの国内での個人向けの販売不振を受けてターゲット市場の見直しを行い、文化施設向けの販売および海外への販売を進めているところです。後者については海外企業との交渉を継続しており、契約締結に至っておりません。

当期中での小型可視レーザーの需要減少の補填及びRETISSA ON HANDの契約締結・受注は見込めないものと判断して、業績予想を修正いたします。

売上高は202百万円の減少となった一方で、人員採用の順延による人件費や採用費用減少の他、事業税等を中心に販売費及び一般管理費の減少を見込むため、営業利益、経常利益、当期純利益は当初予想通りを見

込んでおります。

当社といたしましては、レーザデバイス新製品の市場投入、幅広い企業とのパートナーシップ締結等、当社独自の製品が適用できる市場を積極的に開拓し、着実な成長を目指した活動を継続するとともに、新製品、新サービスの開発も並行して進めてまいります。

2. 営業外収益の内容

「Mobility for ALL」活動資金助成金（一般財団法人トヨタ・モビリティ基金）等により助成金収入 22,192 千円を営業外収益として計上いたしました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上